

就職活動応援特集

水の仕事を知ろう

水の仕事に興味を持ったら 知っておきたいキーワード



宇部市ではコンセッション方式による事業運営がスタートした

水道・下水道の施設は誰のものだろうか。家の敷地の中にあるものを除けば、おおよそ自治体のもので、皆さんの住んでいる自治体が施設の所有者として管理している。つまり、水道・下水道の施設は「水道」「下水道」と呼ばれる自治体のものである。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。

官民連携

日本の下水道の経営は、一部を除いて自治体が行っている。この新聞に掲載されている企業は、自治体から施設設計・建設・管理を任されたり、施設を造るために必要な機械や材料を製造、供給したりしている。自治体は持つ公的な役割と民間企業が持つ技術や生産力、そして地域を問わずに仕事ができる機動力が組み合わさって下水道事業は成り立っている。



鶴岡市・酒田市・庄内町の2市1町により「庄内広域水道企業団」が設立

広域連携

水道・下水道の施設は誰のものだろうか。家の敷地の中にあるものを除けば、おおよそ自治体のもので、皆さんの住んでいる自治体が施設の所有者として管理している。つまり、水道・下水道の施設は「水道」「下水道」と呼ばれる自治体のものである。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。自治体は、水道・下水道の施設の管理・運営を担う。

強靱化

日本においては地震、台風そして火山の噴火など自然災害が付き合っていることが不可欠です。令和6年に発生した能登半島地震では、下水道施設にも大きな被害が発生しており、現在もの復旧・復興に向けた取り組みが続いています。避けられない自然災害の被害を未然に防ぐ、または被害を受けた場合でも早期に立ち直れる体制を作ることが「強靱化」です。



能登半島地震では下水道施設にも大きな被害が発生した

老朽化

下水道の施設は、長い年月をかけて築かれています。老朽化が進むと、施設の性能が低下し、漏水や管破などのトラブルが発生する可能性があります。そのため、施設の老朽化を早期に発見し、適切なメンテナンスを行うことが重要です。



八潮市の道路陥没事故

DX



ドローン等の技術導入も進む

令和3年9月、デジタル庁が発足し、国を挙げたデジタル化の形成に向けた動きが本格的に動き出しました。水道・下水道も例外ではありません。各地で事業の高度化、効率化に向けたDXの活用が進んでいます。国土交通省では、民間企業らが開発した実証実験施設にあるデジタル技術を取りまとめた「下水道DX技術カタログ」を策定し、上下水道施設のメンテナンスの高度化・効率化を後押ししています。

肥料利用

令和4年9月、当時の岸田文雄首相が下水汚泥（下水処理後の固形物）の肥料利用の拡大を指示しました。リン等の肥料原料の大半を輸入に依存していることや、ロシアのウクライナ侵略等による食料安全保障上のリスクの高まりを受け、肥料の国産化・安定供給を目的としたものです。これを契機に、令和5年3月末には、農林水産省と国土交通省が、都道府県と市町村の下水道、農政当局に対し、下水汚泥の肥料利用の拡大に向けた連携体制や安全性の確保に向けた取組みを実施するよう通知しているほか、今年度には下水汚泥のコンポスト化やリン回収を行ったための施設整備を財政的に支援する「下水汚泥肥料化推進事業」が創設されました。



国の食料安全保障に向け下水汚泥に注目が高まる

水の展示会に行こう！



水関連の企業が一堂に会するイベントが、学生の皆さんを待っている。今年には下水道展が8月4～7日に東京ビッグサイト（東京都）で、水道展が10月21～23日に島メッセ長崎（長崎市）で開かれる。2025年には大阪市で下水道展が、広島市で水道展が開催され、水道・下水道の多くの実務者が詰めかけた。両展示会とも企業や技術の情報収集はもちろん、足を運べば関係者の熱気や熱い思いが伝わってくる展示会だ。出展する企業は学生の参加も歓迎している。ぜひ展示会を訪れ、水に携わる企業の技術や雰囲気に触れてほしい。



2025広島水道展

上下水道一体

人口減少、気候変動、施設の老朽化といった課題は、水道も下水道も同様です。そして水道行政移管の趣旨は、これら課題への対応を通じた水道の機能強化です。計画・設計・製造・施工・水処理のエンジニアリング、そして行政など水の仕事は多くの人の営みのもとで構成されています。67年ぶりの大転換となった国の水道行政移管は、全ての人が影響する大きな動きです。



国の行政でも上下一体がスタート

<https://www.kansei-pipe.co.jp>街を支える。
未来へつなげる。

管清 PRIDE

60年以上の経験と高い技術力で下水道インフラを守る

管清工業は街の大動脈である下水道の機能を守るため点検・調査、清掃、修繕・改築すべてに対して一貫して対応しています。これまで培ってきた技術とそれを支える開発力であらゆる下水道にまつわる課題を解決していきます。

 **KANSEI**
管清工業株式会社

本社 / 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 1-7-3